

脊椎手術（後方固定）を受けられる患者さんへ

月/日	/	/	/	/	/	/	/		
経過	手術前々または前日		手術日 (術前) (術後)		手術後1日目	2日目	3～5日目	7日目	8日目～退院日 (患者さんの状態によって退院もしくは転院)
達成目標	・鎮痛処置にて痛みを軽減できる ・心身ともに手術の準備ができています。		・創部の出血がない・痛みのコントロールができる ・挿入した背中への管からの排泄に問題がない。		・痛みのコントロールができる ・創部の出血がない			・退院後の生活について理解できる ・退院、もしくはリハビリ目的の転院ができる	
			床上安静を保つことができる		ベッドに座ることができる	立つことができる	歩行ができる		
治療 検査 処置	・手術までに検査を行います (採血、筋電図検査、肺機能検査、歯科、循環器内科受診) ・弾性ストッキングのサイズを計測します (肺血栓塞栓症や深部静脈血栓症を予防するために着用します) ・3次元型をします ・手術前々日は就寝前に下剤を飲みます ・手術前日は日中に流腸をします	・手術着に着替え、弾性ストッキングを履きます	・透視で確認しながら手術を行います ・血液検査と手術部位のレントゲン撮影があります ・酸素吸入をします ・心電図モニターを付けます ・背中に管が入ることがあります	・血液検査があります(手術後1日目) ・背中への管は量や色を見ながら術後2～3日目に背中への管を抜きます(主治医の指示で3日目以降も入れている場合があります) ・創部が汚染されていたら回診で処置をします ・歩行が可能になるまで弾性ストッキングを履きます ・中止していた薬剤があるときは再開となります(医師指示)			・抜糸をします ・採血があります ・レントゲン撮影があります。	・術後7日毎に採血、レントゲン撮影をします ・創の状態を確認して異常がなく、リハビリの進み具合によって退院もしくは転院の調整をさせていただきます	
薬剤	・抗凝固剤や抗血小板薬を内服している場合は中止になります		・持続点滴を開始します(術後2日目まで) ・麻酔科の指示で薬を飲みます(術前のみ) ・手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します。抗菌薬は術後2日目まで継続します			・中止薬以外の薬は再開します ・医師の指示で点滴投与を継続します		・退院時、転院時は退院処方をお渡しします	
活動・安静度	・制限はありません ・骨折している場合はベッド上安静です		・ベッド上安静です (ベッドUP60度迄)		・背中への管を抜いた日から3次元型を装着して活動可能です。(痛み、リハビリの状況によります)				
栄養(食事)	・制限はありません(医師の指示がある場合指示に従います)		・朝から絶食です ・()まで飲水可能です		・手術翌日から食事が開始となります				
清潔	・制限はありません ・メイク、化粧は除去し爪を切ります ・男性は髭を剃ります		・体拭きをします		・背中への管を抜いた翌日から、創部を防水性の被覆材で保護していれば入浴可能です。 入浴が難しい場合は体拭きをします			・傷を擦らない様に注意してください	
排泄	・制限はありません		・手術中におしこの管を入れます		・背中への管が抜けた日の日中におしこの管を抜きます。抜いた後は制限はありません				
リハビリ	・医師の指示があればリハビリが始まります				・リハビリを再開し、ベッド上訓練や歩行訓練が始まります。				
説明指導 教育	・主治医から手術の説明があります ・病棟看護師から手術前後の説明と必要物品を準備をします ・麻酔科医から説明があります ・手術室看護師から手術の説明があります		・主治医より手術内容を本人、ご家族に説明します					・退院後の生活で注意することを説明します	

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます

A4_1013,A4_1025 2025年3月 クリニカルパス委員会承認

公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院 整形外科